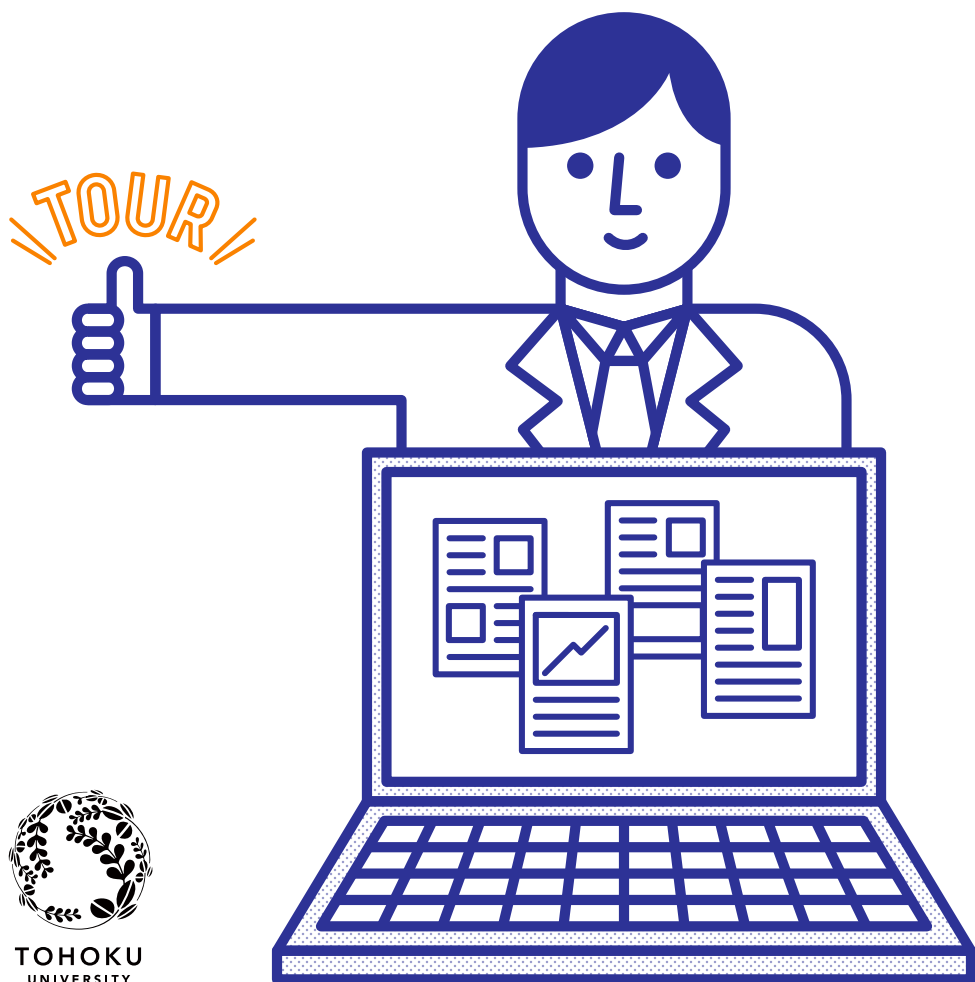


# 研究成果の オープンアクセス化は 東北大学の使命です。



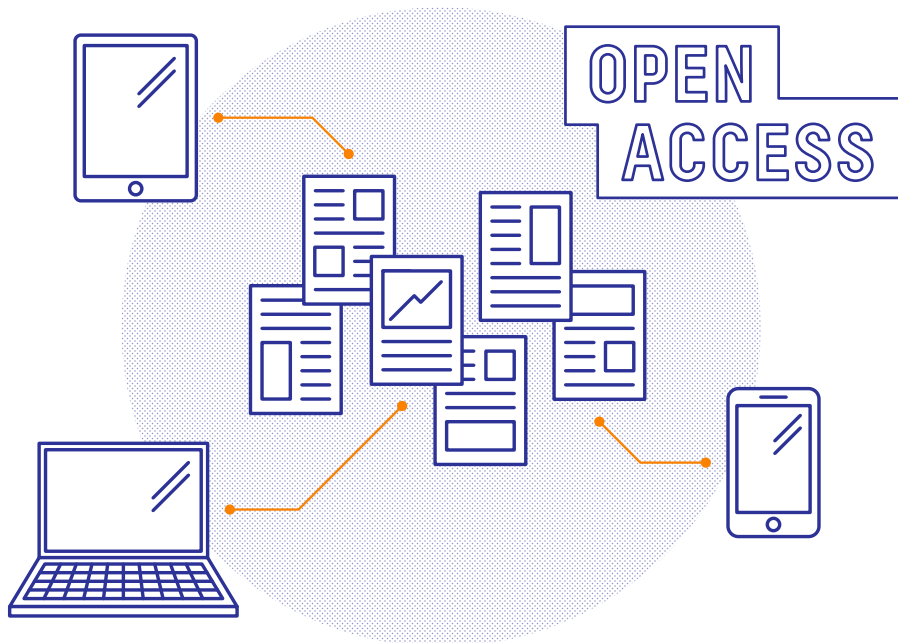
TOHOKU  
UNIVERSITY

# オープンアクセスとは

学術論文等をウェブ上に公開することで、誰もが無料でアクセスできるようにする仕組みです。研究成果の共有と再利用が進むことで、学際的な研究が生み出され、成果を社会に還元するという効果もあります。

## オープンアクセス化のメリット

- インターネット上で全世界の人に無料で論文を読んでもらえる
- 論文が引用される可能性が高まる
- 研究成果を社会に還元することができる
- 異なる分野の研究成果に触れることで、研究の幅が広がる
- インターネットがつながれば自分の論文をいつでも確認できる



# オープンアクセス化の方法

STEP 1 ▶ 大学情報DBを元に教員の業績を検索

STEP 2 ▶ 公開ポリシーの確認

出版社が定めたウェブ公開の指針により、  
TOURに登録してもよい版や条件を確認します。

STEP 3 ▶ 図書館から教員へ研究成果提供依頼

図書館作業

STEP 4 ▶ 著作権者への許諾依頼

図書館が研究成果の著作権者を確認します。著作権が  
出版社に譲渡されていない場合は、著作権を持つ共著者  
あるいは学協会に対し、『登録許諾書』の提出をご依頼ください。

STEP 5 ▶ 研究成果の体裁の整備（希望者のみ）

STEP 6 ▶ 図書館へ登録依頼

『登録依頼書』と研究成果を送付してください。

教員作業

STEP 7 ▶ PDF化

STEP 8 ▶ TOURへ登録

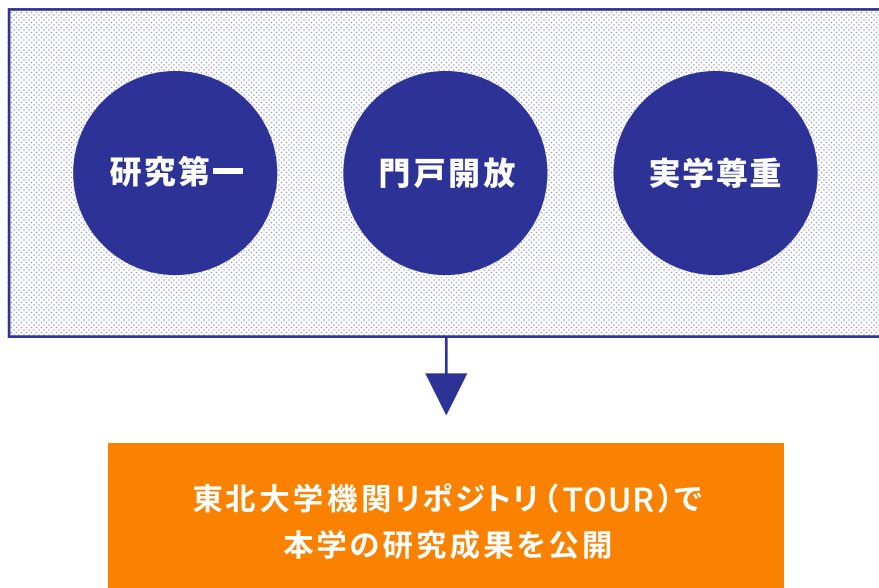
STEP 9 ▶ 大学情報DBへ登録状況をフィードバック

図書館作業

# 研究中心大学としてオープンアクセス化を推進

## 「研究中心大学」としての使命

東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。



人間社会の持続的発展に貢献

社会への「知」の波及

## 研究成果はTOURで公開

### 東北大学は「オープンアクセス方針」を採択しました

常勤の教員が東北大学情報データベース（大学情報DB）に登録した学術論文のうち、ウェブでの公開が可能なものをTOURで公開します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



東北大学オープンアクセスのウェブサイトを開発しています。

→ [www.library.tohoku.ac.jp/research/openaccess/index.html](http://www.library.tohoku.ac.jp/research/openaccess/index.html)

### TOURとは？

TOURは、東北大学機関リポジトリ“TOhoku University Repository”の略で、本学の研究成果を収集し、広く公開するものです。TOURに登録した学術論文はGoogle等でも検索できるようになります。

→ <https://tohoku.repo.nii.ac.jp>

### 図書館がTOURへの登録を支援します

- 『登録許諾書』『登録依頼書』などの様式は図書館が用意します。
- 体裁を整えたい場合は、図書館で用意したテンプレートが利用できます。
- 提出版の後日の差し替えも可能です。

### TOURには論文以外にも登録できます

学術論文、紀要、博士論文、教材、学会発表資料、研究データ等



## 東北大学オープンアクセスに関するお問い合わせ

附属図書館 総務課学術情報基盤係

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

TEL: 022-795-5912 MAIL: [tour@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tour@grp.tohoku.ac.jp)

平成30年(2018)4月